

2026年2月20日
SOMPOリスクマネジメント株式会社
損害保険ジャパン株式会社

従業員ポケットカードアプリ「こまった！どうするAPP」開発 —従業員がこまったときに取るべき行動を示すスマートフォンアプリを開発—

SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中嶋 陽二、以下「SOMPOリスク」）と損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、お客さまが地域や社会で安心して暮らせるよう、「防災・減災」に関する商品・サービスの開発、地域社会と連携した地域コミュニティの強化に取り組んでいます。

今般、企業の従業員が災害・事故・社内トラブル等に直面した際に取るべき行動を、スマートフォンアプリを通じて提供するサービス「こまった！どうする APP」（以下「本サービス」）を開発しました。本サービスは企業・団体の皆さんを対象に、2026年2月に先行販売を開始し、4月以降に一般販売を予定しています。

1. 開発の背景

近年、多くの災害が発生し、企業や団体では事業継続計画（BCP）や防災マニュアルの策定・運用が進められています。これらの実効性を高めるためには、組織全体にその内容や取るべき行動を浸透させることが重要です。

SOMPOリスクは長年、企業・団体の災害対応マニュアルの策定を支援し、その要点をまとめた紙の「ポケットカード」を提供してきました。このカードは、従業員が災害時の「こまった」状況でとるべき行動をわかりやすく示したものです。一方、紙のカードには事業環境や方針の変化に伴う定期的な見直しがしにくい点、いざという時に紛失しやすい、または携行し忘れやすいといった課題がありました。また、ハラスメントなど災害以外のリスクも周知したいというご要望も寄せられていました。

これらの声にお応えするため、この度、改定や携行の利便性を抜本的に改善したスマートフォンアプリ「こまった！どうする APP」を開発しました。

損保ジャパンは、災害に強い地域社会の実現に向けて、独自の防災教育コンテンツである「防災ジャパンダプロジェクト※1」やSOMPO流「逃げ地図」づくりワークショップ※2を活用して、全国の自治体・企業・教育機関・NPO等と連携し、防災イベント等を通じた「防災・減災」の普及啓発に取り組んでいます。これらの取組みを通じて、地域における防災リテラシーの向上、地域のつながりの醸成に努め、「こまった！どうする APP」を含めた社会課題解決型の商品・サービスを提供します。

※1 防災ジャパンダプロジェクト：子どもたちとその保護者を対象にした体験型防災ワークショップ。

2014年に開始し、累計約150,000人が参加（2025年12月末）。

<https://www.sompo-japan.co.jp/csr/environment/eco/bousai/>

※2 SOMPO流「逃げ地図」*づくりワークショップ：地域のリスクコミュニケーション向上を目的とした災害避難想定のワークショップ。2023年の開始以来、30都道府県59市町村で実施。

<https://nigechizu.jsurp.jp/howto/> (*「逃げ地図」は株式会社日建設計の登録商標です。)

2. 本サービスの概要

(1) 本サービスの構成

本サービスは、従業員が確認できるスマートフォンアプリと、管理者向けの「管理画面」で構成されています。

(2) アプリの概要

アプリは直感的に操作できるUIになっています。起動すると複数のシチュエーションが提示され、その中から該当する状況を選ぶと、取るべき行動が示されます。①「大規模地震」、②「水災」、③「火災」、④「情報漏洩の可能性がある場合」、⑤「社有車で交通事故を起こした場合」、⑥「会社のPCがウィルスに感染した場合」、⑦「ハラスメントを受けた/見かけた場合」の7種類のシチュエーションが用意されており、各企業が必要なものを選択し、アプリに反映することができます。

アプリはiOS版とAndroid版の2種類を提供します。また、アプリのデータはスマートフォン側で保有するため、通信が途絶した場合などでもオフラインで確認可能です。

(アプリの画面イメージ)



(3) 管理画面の概要

シチュエーションごとの汎用的なポケットカードが標準で掲載されており、管理者はウェブ上の管理画面から内容を編集できます。

アプリの内容の更新があった場合には、30日ごとの自動更新時に反映されるほか、管理者側から手動での更新も可能です。

(管理画面イメージ)

The screenshot displays a management interface for content editing. On the left is a sidebar with navigation links: 基本情報, ユーザ管理, コンテンツ管理, パスワード変更, and ログアウト. The main area shows a content entry screen for '110_01' titled '大規模地震（一般社員） > オフィス（職場） > 安全確保・二次災害の防止'. A red box highlights the content text area, which contains a list of safety measures. Below this is a button labeled 'アプリに反映' (Reflect to App). To the right, a mobile application window is shown, also titled '安全確保・二次災害の防止', displaying the same content and safety measures. A red arrow points from the 'アプリに反映' button to the mobile app window.

3. 費用・期間

(1) 費用

年間36万円（税抜）※3

※3 サービス提供開始を記念した特別価格です。アプリのインストール可能数に上限はありません。

(2) 期間

1年間（以降、自動延長）

4. 今後の展開

本サービスは、お客様の要望を取り入れながら、より使いやすく、社会の安心・安全を支えるサービスへと継続的に改善します。

SOMPOリスクは、本サービスを通じてリスクマネジメント活動の推進と負荷軽減を図り、より多くのお客様が持続可能なリスクマネジメント体制を構築できるよう支援します。

また、損保ジャパンは、企業とのパートナーシップを活用し、「こまった！どうするAPP」アプリの浸透を通じて、災害に強く、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社

クライシスマネジメントコンサルティング部

DX推進プロジェクトチーム [担当：宮田、柳川、玉利、迫、田中、新藤]

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル

TEL : 03-3349-4328（直通） mail : bcm-info@sompo-rc.co.jp

お問合せフォーム : <https://www.sompo-rc.co.jp/contact/form/>

※大力テゴリ「事業継続(BCM)」-中カテゴリ「BCP訓練」を選択してください。